

第3回 小丸川・一ツ瀬川水系 水防災意識社会再構築協議会 開催

小丸川・一ツ瀬川流域等の関係機関が連携・協力し、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的として協議会を設立し、ハード・ソフト対策を一体的、計画的に推進しています。

第3回となる今回の協議会では、減災に係わる取組方針の実施状況をフォローアップし、関係機関で進められている主な取組内容について、共有を図りました。

開催概要

- 日時：平成30年5月30日（水）
- 会場：高鍋町役場 3階第1会議室

協議会 委員名簿

- 規約別表のとおり。

議事内容

- 規約改正（組織名称変更）について
- 「減災に係る取組方針」フォローアップ【直轄管理区間】【県管理区間】について

委員の方の主な発言

- **【水害（災害）に強い人づくりの推進】**について
→自主防災組織の結成と積極的活動について、土砂災害防災訓練を行っている事例や、自主防災組織結成の支援の取組などが紹介された。
→アドバイザーからは「水防災と地震とでは避難訓練の内容が異なってくるので、防災士の方からも違いについて伝えてもらうようお願いしたい」といった意見が出た。
- **【情報伝達のための環境づくりの推進】**について
→迅速かつ確実な防災情報・避難情報伝達及び手段の多様化について、無線告知システムや、光ファイバーを活用した情報配信を行っている事例が紹介された。
→要配慮者を考慮した避難・誘導の取組の推進では、介護施設で避難訓練を行っている事例が紹介された。
→アドバイザーからは情報の伝達では画像情報が有力となるため、地図などを利用し分かりやすくする工夫が必要という意見が出た。
- **【水害（災害）に強いまちづくりの推進】**
【水害（災害）に強い防災拠点の推進】について
→大規模氾濫における排水計画が進められている事や、要配慮者利用施設の避難計画への支援、津波避難タワーの建設、公共施設、災害時拠点病院等の機能確保などの対策が進んでいる事などが紹介された。
→アドバイザーからは、「今後は人口減少、過疎化が進んでいくなか、土地利用規制や開発抑制など、どのように進めていくかが重要である。」といった意見が出た。

